



株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス

# 第20期報告書

2016年3月1日 — 2017年2月28日

証券コード：3387

株主の皆様には、常日頃、当社に対するご理解、ご支援をいただいておりますことを心より感謝申し上げます。  
ここに第20期(2017年2月期)の事業内容につきましてご報告を申し上げます。

代表取締役社長 岡本 晴彦

### 当社を取り巻く事業環境について

2017年2月期の国内経済は、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移したものの、アジア新興国や資源国等の海外景気動向や米国新政権に対する懸念等により、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

また、外食業界におきまして、他業種他業態との競争激化、原材料価格の高止まりや物流費の上昇、人手不足による人件費の上昇等もあり、引き続き厳しい経営環境が続いております。

### 2017年2月期の業績について

2017年2月期の当社グループは、売上高1,135億円(前期比9.9%増)、営業利益58億円(前期比13.2%減)、経常利益63億円(前期比13.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益32億円(前期比0.8%減)の増収減益となりました。

売上高につきましては、主に「磯丸水産」、「ローストビーフ星」、「Mr.FARMER」などの新規出店を行い、増収となりました。

一方で、消費低迷等の影響により、郊外・地方レストランを中心とした既存店の売上高が伸び悩み、また、採用関連費が高止まりするなど、人件費率の上昇等により、経常利益は減益となりました。

このような状況下でしたが、当社グループとして取り組むべき課題の絞り込みや対策の優先順位付けも出来た一年となりました。



代表取締役社長

岡本晴彦

### 2018年2月期の取り組みについて

2018年2月期につきましては、3つの取り組みを実行してまいります。

#### ①既存店の対策

- ・既存店の競争力の回復を図るべく戦略的な改装、業態変更の積極的な実行
- ・お客様の利便性向上と客単価増を狙いとしたタブレット端末の導入
- ・ポイント会員へのアプローチ施策の拡充による客数の増加

#### ②中長期的な成長の柱となる新たなコアコンセプトブランドの開発

- ・高い収益性と投資効率を両立するブランドの開発・育成

#### ③グループ横断的な課題解決への取り組みによるグループシナジーの追求

- ・購買、店舗設計、採用等の優先度が高い重要テーマでベストプラクティスを検討・実施

その他のトピックスといたしましては、本年6月にニューヨークで初めて和食業態を出店する他、日本の老舗ブランドを海外で展開する取り組みとして、日本そば「更科堀井」のニューヨーク出店を計画しております。

以上の取り組みにより、当社グループの2018年2月期業績見通しは、売上高1,180億円(前期比3.9%増)、営業利益63億円(前期比7.6%増)、経常利益68億円(前期比7.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益33億円(前期比0.2%増)を見込んでおります。

### 中期経営計画について

当社グループは、ホールディングス体制を通じた効率的な仕

組みやインフラのもとに、様々な専門性を有する事業会社群を束ね、グループとして成長を目指す「グループ連邦経営」を引き続き推進し、進化させてまいります。

当社グループの進める「グループ連邦経営」の強みは、『変化対応力』であり、新コアコンセプトブランドの開発を中心として、専門性の追求および立地と業態ポートフォリオの拡充を両立し、グループ全体でのシナジーを更に創出してまいります。

他方、ホールディングス会社としては、各事業会社が専門性向上に集中できるよう、下支えとなるプラットフォームを更に強固なものへ磨いてまいります。

このように私たちは、「グループ連邦経営」の更なる進化を図ることによって、多種多様なプロフェッショナルを有する企業グループを目指してまいります。

その成長の柱は、

- ①国内外の事業会社による年間90~100店舗の安定的な出店
- ②国内外の良質なM&Aの実行
- ③海外展開の推進

であり、3つの成長戦略の実行により、継続的な成長を目指してまいります。

以上により、M&Aの実行を見込まない場合の中期経営計画のゴールといたしましては、3年後の2020年2月期に売上高1,500億円、経常利益100億円を目指してまいります。

また、一昨年発表の「VISION2020」にて、売上高2,000億円の達成を掲げておりますが、今後のM&Aの進捗状況により、時期は多少前後するものの、引き続きその達成を目指してまいります。

CRカテゴリー

- ▶ クリエイト・レストランツ社 (CR社)、クリエイト・ダイニング社 (CD社) が運営する店舗で構成。
- ▶ 商業施設を中心に、マルチブランドにてレストラン及びフードコートを運営。

[主なブランド]



売上高につきましては、郊外・地方のショッピングセンター立地を中心に消費低迷の影響があるものの、ローストビーフ業態を中心とするフードコート業態等の好調により増収となりました。

利益面につきましては、前期に計上した一次的な営業外収益の剥落や新規出店の増加に伴う開業費用の増加等の影響により減益となりました。

店舗数につきましては、既存のショッピングセンターから引き合いの多い「ローストビーフ屋」の好調な出店等により、51店舗の新規出店、24店舗の撤退を実施し、期末店舗数は421店舗となりました。

売上高

42,863 百万円	前期比 +4.0%	▲
------------	--------------	---

カテゴリー利益

3,710 百万円	前期比 △ 0.7%	▲
-----------	---------------	---

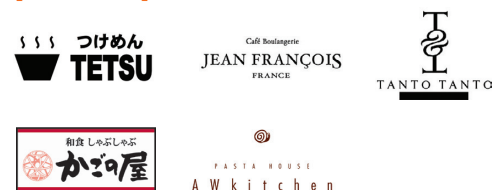


ローストビーフ屋

専門ブランドカテゴリー

- ▶ 国内子会社5社 (ルモンデグルメ社 (LG社)、イートウォーク社 (EW社)、YUNARI社 (YNR社)、グルメブランドカンパニー社 (GBC社)、KRフードサービス社 (KR社)) が運営する店舗で構成。
- ▶ 郊外ロードサイド、都市型商業施設を中心に展開。

[主なブランド]



売上高につきましては、既存店が低調に推移したものの、前期にグループ入りしたKRフードサービス社の通年寄与に加えて、好調な新規出店等により増収となりました。

利益面につきましては、新規出店数の増加に伴う開業費用の増加やKR社の会計基準の変更による一時的なコストの増加等の影響により減益となりました。

店舗数につきましては、主にKR社による「かごの屋」や「高速道路のSA・PA立地店舗」等の出店により、19店舗の新規出店、9店舗の撤退を実施し、期末店舗数は189店舗となりました。

売上高

31,530 百万円	前期比 +36.7%	▲
------------	---------------	---

カテゴリー利益

1,316 百万円	前期比 △10.7%	▲
-----------	---------------	---



かごの屋

SFPカテゴリー

- ▶ SFPダイニング社 (SFP社) が運営する店舗にて構成。
- ▶ 2013年4月に資本提携し、都心繁華街に居酒屋を運営。

[主なブランド]



売上高につきましては、堅調な新規出店や前期出店分の通年寄与があるものの、天候不順や消費低迷の影響に加え、ディナー時間帯の客単価の下降傾向等により減収となりました。

利益面につきましては、前期が決算期変更により14ヵ月分の業績が連結されていましたが、今期は12ヵ月分に戻ることに加え、新規出店数の増加に伴う開業費用の増加等の影響により減益となりました。

店舗数につきましては、「磯丸水産」や「鳥良商店」を中心に繁華街立地への出店により、42店舗の新規出店、6店舗の撤退を実施し、期末店舗数は212店舗となりました。

売上高

35,957 百万円	前期比 △ 0.4%	▲
------------	---------------	---

カテゴリー利益

3,560 百万円	前期比 △18.1%	▲
-----------	---------------	---



磯丸水産

海外カテゴリー

- ▶ シンガポール、香港、台湾に展開。
- ▶ 主に商業施設を中心に展開。

[主なブランド]



売上高・利益面につきましては、香港が中国の景気低迷の影響を受けたものの、台湾の連結化やシンガポールが好調に推移したことに加え、業績不振であった中国 (上海) からの全店撤退が8月末で完了したことにより、大幅な損益の改善につながり、増収増益となりました。

店舗数につきましては、香港にて「MACCHA HOUSE」等の出店により、4店舗の新規出店、15店舗の撤退を実施し、期末店舗数は35店舗となりました。

なお、撤退の15店舗の内、中国 (上海) の合併事業解消に伴う撤退の12店舗が含まれております。

売上高

3,167 百万円	前期比 +11.8%	▲
-----------	---------------	---

カテゴリー利益

280 百万円	前期比 +70.7%	▲
---------	---------------	---



MACCHA HOUSE 抹茶館

## 恵比寿にも“NYスタイル”のフードホールが登場 エビスフードホール



4つの店舗が1か所に集まる食空間「EBISU FOOD HALL (エビスフードホール)」が、2016年9月22日、東京・恵比寿にオープン。出店店舗は、「自家焙煎コーヒー」「グルメサラダ」「ベーカリー」「バル」の4形態。117席のイートインスペースを備え、“New Food Hall of NY Style”をコンセプトとする開放感あるデザインとなっています。「恵比寿ブレンド」(270円)など、店内の機械で焙煎した挽き立てのコーヒーを提供しています。

**自家焙煎コーヒー:**「恵比寿ブレンド」(270円)など、店内の機械で焙煎した挽き立てのコーヒーを提供。営業時間は7時~23時、テイクアウト可。



**グルメサラダ:**彩り豊かなデリと「シグネチャーサラダ」のショップ。「デリ2品&シグネチャーサラダプレート」(980円)などを提供。営業時間は10時~22時、テイクアウト可。



**ベーカリー:**「パンドミ」(1斤420円)をはじめ、ハード系からスイーツ系まで、常時約30種が並ぶ。営業時間は8時~22時、テイクアウト可。



**バル:**生ハムの最高峰ともいわれる「ハモンイベリコベジョータ」や新鮮なカキなどを、リーズナブルなワイン(グラス390円~)とともに。営業時間は16時~23時。



(価格は2017年4月末時点のものです)

## 和モダンスタイルの店内で“ほっと一息”できる空間 もみじ茶屋 鎌倉小町通り



**どら焼き各種(持ち帰り限定):**鎌倉グルメには欠かせない食べ歩きメニューとして、「焼き立てのどら焼き」(350円~)をご用意。ご注文いただいてから仕上げるのであつあつ、そして表面がサクとしたどら焼きがお楽しみいただけます。



**釜揚げ湘南しらすと三崎マグロ中トロおひつごはん:**湘南しらすや三崎マグロを使用した「おひつごはん」(1,390円)は、まずは特製のだし醤油をかけ「丼」として召し上っていただき、次に抹茶入り玄米茶の香り豊かな熱々のお出汁をかけ、「お茶漬け」として2度お楽しみいただけます。



(価格は2017年4月末時点のものです)

「もみじ茶屋 鎌倉小町通り」は、鎌倉を代表する観光名所の一つ、鶴岡八幡宮の近くに店を構え、鎌倉散策中の老若男女幅広いお客様にお立ち寄りいただき、“ほっと一息”ついでいただける和カフェです。当社グループが独自で開発し、京都の「MACCHA HOUSE 抹茶館」で大人気の「宇治抹茶ティラミス」をはじめ、カフェメニューからお食事メニューまで幅広くご用意しています。

レストランサーチ

<http://www.create-restaurants.co.jp>

ご希望に合ったお店を簡単に検索!

地図から、ジャンルから、シーンからなど様々な条件で当社グループ店舗を検索することができます(スマートフォンにも対応)。是非ご活用ください。





駅前・  
繁華街

駅ビル・  
商業施設

株式会社イトウォーク

AWkitchen  
イタリアン



Mr. FARMER  
お野菜カフェ



株式会社  
クリエイト・ダイニング

THE COUNTER  
カスタムハンバーガーレストラン



株式会社  
モンテグルメ

TANTO TANTO  
イタリアン



株式会社KRフードサービス

かごの屋  
和食・しゃぶしゃぶ



ふうふや  
京うどん・和食



ロード  
サイド



ショッピング  
センター

shopping center

株式会社クリエイト・レストランツ

しゃぶ菜  
しゃぶしゃぶ・すき焼き食べ放題



ビーフラッシュ  
ステーキ食べ放題&ピュッフェ



株式会社  
クリエイト・ダイニング

雑鮎  
高級寿司食べ放題



株式会社YUNARI

つけめん TETSU  
ラーメン



株式会社グルメ  
ブランドカンパニー

JEAN FRANCOIS  
ベーカリー&カフェ



SFPダイニング株式会社

磯丸水産  
海鮮居酒屋



鳥良  
鶏料理専門店



株式会社  
クリエイト・ダイニング

吉祥  
日本料理・しゃぶしゃぶ



株式会社クリエイト・レストランツ

デザート王国  
クレープ&QQドリンク



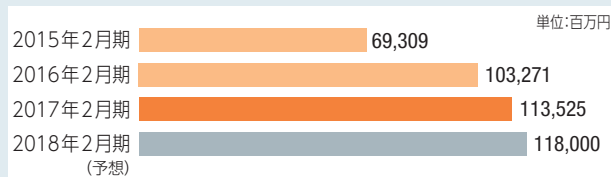
ローストビーフ星  
ローストビーフ専門店



フードコート

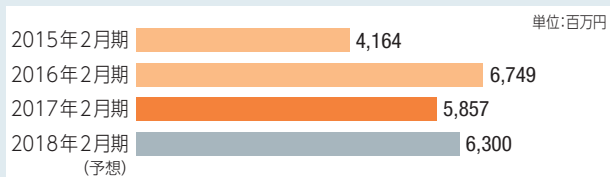
売上高(通期)

1,135億25百万円 前期比 +9.9%



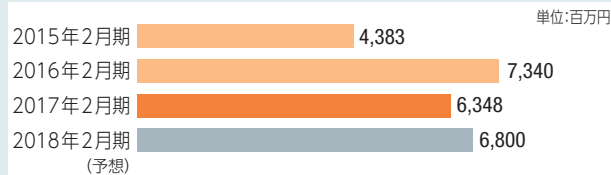
営業利益(通期)

58億57百万円 前期比 △13.2%



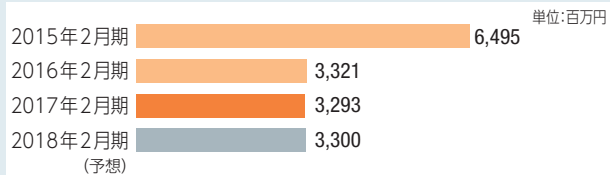
経常利益(通期)

63億48百万円 前期比 △13.5%



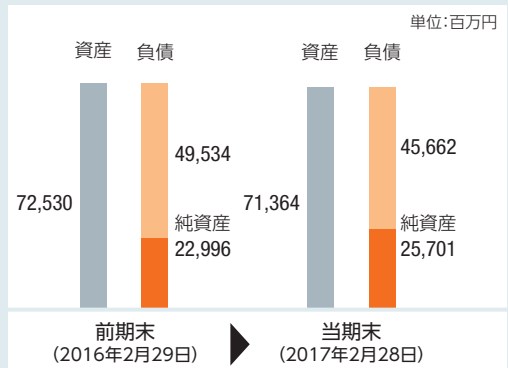
親会社株主に帰属する当期純利益(通期)

32億93百万円 前期比 △0.8%



連結貸借対照表の概要

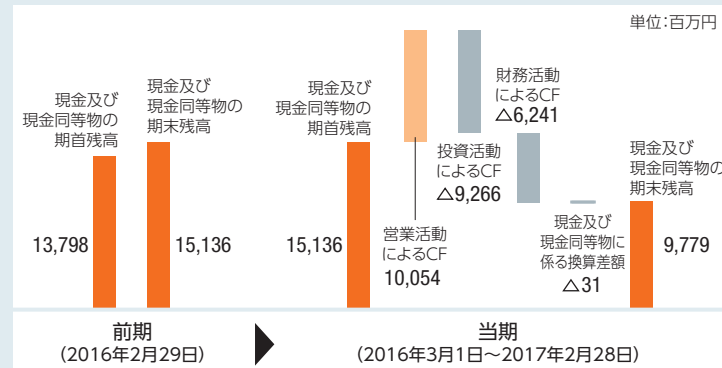
総資産 71,364 百万円 純資産 25,701 百万円



資産は現金及び預金、有価証券の減少等により1,165百万円減少いたしました。負債は借入金の減少等により3,871百万円減少いたしました。純資産は利益剰余金の増加等により2,705百万円増加いたしました。

連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要

現金及び現金同等物の期末残高 9,779 百万円



営業CFは、税金等調整前当期純利益5,569百万円に減価償却費や法人税等の支払額等を加減した結果、10,054百万円となりました。投資CFは、固定資産の取得による支出が増加したこと等により、9,266百万円の支出となりました。財務CFは、借入金の返済や社債の償還等により6,241百万円の支出となりました。

会社概要

商号 株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス  
 本社 東京都品川区東五反田 5-10-18  
 創業 1999年5月  
 資本金 1,012百万円  
 従業員数 11,504名(内社員3,605名)  
 事業内容 お客様のニーズにあった多様なレストランを創造し、これを多様な立地に展開すること

役員一覧

代表取締役会長 後藤 仁 史  
 代表取締役社長 岡本 晴彦  
 専務取締役 川井 潤  
 取締役 田中 孝和  
 取締役 島村 彰  
 取締役(監査等委員) 森本 裕文  
 社外取締役(監査等委員) 根本 博史  
 社外取締役(監査等委員) 大木 丈史

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
 定時株主総会 2月末日の翌日から3ヵ月以内  
 基準日 毎年2月末日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。  
 配当金受領株主確定日 期末配当金 2月末日・中間配当金 8月31日  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
 (連絡先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)  
 公告方法 電子公告  
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

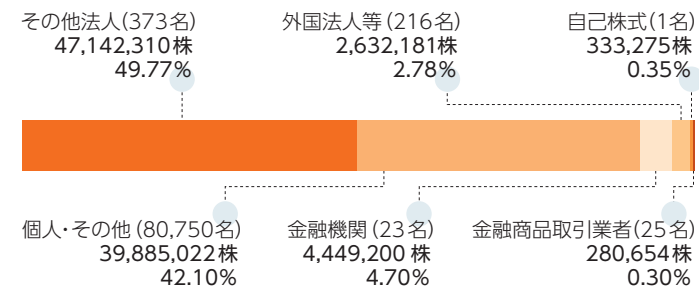
株式の状況

発行可能株式総数 190,800,000株  
 発行済株式総数 94,722,642株  
 株主数 81,388名

大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社後藤国際商業研究所	44,051,700	46.51
株式会社ユリッサ	2,682,000	2.83
岡本晴彦	2,387,700	2.52
川井潤	1,215,000	1.28
岡本梨紗子	846,000	0.89
岡本侖里子	846,000	0.89
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	726,300	0.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	615,100	0.65
ビービーエイチフォーファイデリティロープライズドストックファンド(プリンシパルオールセクターサブポートフォリオ)	564,000	0.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	559,900	0.59

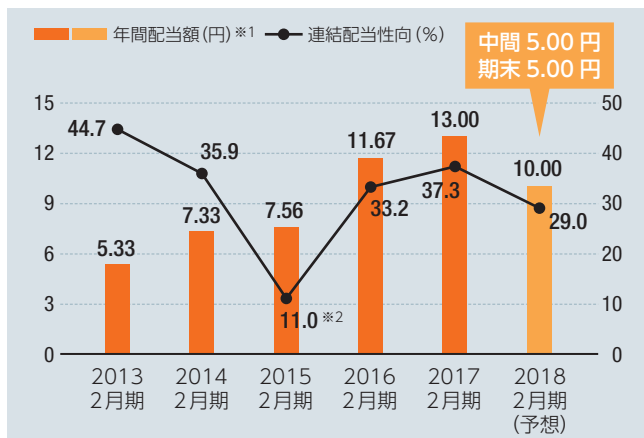
所有者別株式分布状況



# 株主還元

## 配当について

当社では、株主の皆様への利益還元を経営上の重要施策と位置付け、業績や今後の事業展開等を勘案し、連結配当性向30%程度を目安として安定的な配当を行うことを基本方針としております。



### 2017年2月期実績



※1 2014年9月1日付及び2016年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しているため、株式の分割を考慮し、年間配当額は、遡及修正しております。

※2 2015年2月期は、SFP社のIPOに伴う持分変動利益を特別利益に計上したため、当期純利益が増加し、連結配当性向は低下しております。

## 株主優待のご案内

以下の区分により当社グループ店舗にてお使いいただける、株主様ご優待券(お食事券)を年2回贈呈いたします。

基準日	2月末日	8月末日
贈呈時期	6月上旬頃	11月中旬頃
100株以上500株未満	3,000円分	3,000円分
500株以上1,500株未満	6,000円分	6,000円分
1,500株以上4,500株未満	15,000円分	15,000円分
4,500株以上	30,000円分	30,000円分

全国200ブランド  
約800店舗にて、  
ご利用いただけます。

(2017年2月末日現在)



株式会社優待券見本

有効期限

2月末日基準の株主様：同年11月30日までの約6ヵ月間  
8月末日基準の株主様：翌年5月31日までの約7ヵ月間

### ホームページのご案内

当社ホームページには、会社概要や事業内容、プレスリリースといった基本情報はもちろん幅広いコンテンツをご用意しています。



<http://www.createrestaurants.com>

クリエイト・レストランツ・ホールディングス

検索